



12月16日 水橋分館親子料理教室

No. 167 

2018年2月1日発行

議会だより

はが

12月議会定例会

定例会概要	2~3
閉会中の所管事務調査	4
一般質問	5~9
研修報告	10
聲<こえ>私のいいたいこと	11
議会日誌・編集室	12

13議案を可決

第5回 芳賀町議会 定例会

の要 例会 定概

平成29年第5回芳賀町議会定例会が12月1日から6日までの6日間の会期で開催されました。

第1日目は全議案を上げし、町長から提案理由の説明を受け、一部議案の質疑・討論・採決を行いました。

一般質問は第5日目の12月5日に行われ、4人の議員が町政について質問しました。

第6日目は、第1日目に採決した案件を除く全ての議案の質疑・討論・採決と、各常任委員会の事務調査報告を行い閉会しました。

平成29年第5回芳賀町議会定例会提出議案

承認

□専決処分の承認を求めることについて（平成29年度芳賀町一般会計補正予算（第3号））

衆議院議員総選挙の執行に伴う選挙経費で、総額に1千万円を増額し、予算総額を73億5994万1千円とするもの。
（質疑・討論なし、原案可決）

報告

□専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）

西水沼地内において、変

条例改正

□特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

形した鉄製側溝蓋の上を通過する際、車両の一部を損傷したものの。賠償額は16万1741円で、全国町村会総合賠償保険で対応。
【質疑】 小林一男議員、増渕さつき議員、北條勲議員

□専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）

下高根沢地内において、認定外道路上の樹木が強風により道路隣接地に倒木し、駐車してあった自動車に接触し、車両の一部を損傷したものの。賠償額は15万9千円で、全国町村会総合賠償保険で対応。
（質疑なし）

□芳賀町特定患者福祉手当支給条例の一部改正について

LR T事業において、輸送の安全に関する業務を統括する安全統括管理者を設置することに伴い、報酬及び費用弁償を定めるもの。
（質疑・討論なし、原案可決）

□芳賀町指定地域密着型サービスの事業の人員、設置及び運営に係る基準等を定める条例の一部改正について

□芳賀町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準等を定める条例の一部改正について

□芳賀町地域包括支援センターの職員に係る基準等を定める条例の一部改正について

供する介護医療院が創設されたことに伴い、条例の一部を改正するもの。
（質疑・討論なし、原案可決）

□芳賀町地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法の一部改正により、長期療養が必要な要介護者に対して、医療及び介護を一体的に提



条例改正・補正予算など

□芳賀町都市計画税条例の一部改正について

近隣自治体の都市計画税の課税状況や現在の社会経済状況を鑑み、平成30年度について、引き続き都市計画税の税率を「100分の0.2」とするもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

補正予算

□平成29年度芳賀町一般会計補正予算(第4号)

総額に3964万7千円を追加し、予算総額を73億9958万8千円とするもの。

【質疑】 増測さつき議員、岩村治雄議員、小林隆志議員、北條勲議員、杉田貞一郎議員

(討論なし、原案可決)

□平成29年度芳賀町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

総額に1094万1千円を追加し、予算総額を1億9594万1千円とするもの。

【質疑】 北條勲議員

(討論なし、原案可決)

□平成29年度芳賀町介護保険特別会計補正予算(第3号)

保険事業勘定の総額に1264万7千円を追加し、予算総額を14億4625万円に、介護サービス事業勘定の総額に1万2千円を追加し、予算総額を600万円とするもの。

【質疑】 増測さつき議員

(討論なし、原案可決)

□平成29年度芳賀町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

総額に1430万円を追加し、予算総額を3億1430万円とするもの。

【質疑】 小林俊夫議員

(討論なし、原案可決)



▲レンタサイクル等設置予定の道の駅はが(ロマンの湯)

一般会計補正予算の主な歳入歳出

歳入

項目	補正額
国庫支出金	障害者自立支援給付費負担金 312万3千円
県支出金	障害者自立支援給付費負担金 156万1千円
	小さな拠点づくり支援事業費補助金 592万5千円
	戦略的園芸産地拡大支援事業費補助金 339万6千円
諸収入	二次交通対策支援事業補助金 91万8千円

歳出

項目	補正額
総務費	子育てワンストップサービス開始にかかるシステム改修、データ連携導入支援業務及びシステム使用料 157万7千円
	e-Tax連携サービス導入費 15万2千円
民生費	臨時福祉給付金給付費・自立支援障害者医療費の実績に基づく償還金 1,188万3千円
	障害者自立支援における自立訓練・就労対策及び放課後等デイサービスの扶助費 2,913万6千円
農林水産業費	戦略的園芸産地拡大支援事業費補助金 339万6千円
	稲毛田地区ほ場整備事業にかかる経営体育成促進換地等調整事業、調査計画費負担金及び推進協議会補助金 203万5千円
商工費	道の駅はがにレンタサイクル等を整備する二次交通整備事業費 183万6千円
土木費	定住促進補助金 300万円
消防費	防災無線子局の移設工事費 121万8千円
教育費	町PR用紙芝居作成料 61万5千円

議会閉会中の所管事務調査

総務・教育民生・産業建設常任委員会は、所管する事務について自主的な調査を行い、12月議会に調査結果を報告しました。

総務常任委員会

□調査事項 地域防災と消防団活動について
□調査の目的 地域住民を火災や自然災害等から守るために消防団活動の重要性が高まっているが、就業構成や少子高齢化による団員不足が問題となっている。団員確保の先進的な活動や消防団の新たな取り組みについて調査検討する。

□行政視察 山形県山形市

□調査の意見と提言 芳賀町では、少子化・町内勤務者の減少・若年層の消防団に対する理解と地域コミュニケーションの希薄化などの条件から、今後の団員確保が厳しい状態になると思われる。行政はこの状況を改善し消防団支援のため、団員加入促進のキャンペーンなどを実施し、団員に特典となる制度や女性消防隊の創設などの創意工夫した取り組みも検討されるよう提言する。

□委員 大島浩、大根田弘、石川保、北條勲



▲視察の様子

教育民生常任委員会

□調査事項

①健康福祉施設等の整備再編について

②英語教育の充実について

□調査の目的 ①老朽化施設の各課横断的な統合を含めた効果的・効率的な施設整備のあり方



▲視察の様子(小諸市)



▲視察の様子(上三川町)

を調査研究する。

②小学校低・中学年の英語教育について、効果的なあり方実現のための体制整備等を調査研究する。

□行政視察 ①栃木県上三川町②長野県小諸市

□調査の意見と提言 ①公共施設等が今後大量に更新時期を迎える一方で、財政も厳しい状況にある。少子高齢化・人口減少等により今後の公共施設等の利用需要が変化し、健康福祉施設も時代に適合した質の高い複合的なサービスが求められている。町内に点在する施設全体を把握し、長期的な視点を持って管理運営の効率化及び財政負担の軽減を念頭に町の核となる総合福祉センターの整備を検討されたい。

②今後の英語教育において、社会のグローバル化への対応は、判断力や自分の考えを伝えられる表現力、相手とのコミュニケーションができればならない。これまでの成果と課題を踏まえながら、アクティブラーニング等を導入した発音や文法等の間違いを恐れず、積極的に英語を使おうとする態度を育成するとともに、英語でのコミュニケーションをとる体験を積むことが必要である。本視察においては、現場の先生こそ参加が必要だと感じた。こういった研究発表の場を逃すことなく、積極的に参加できるように配慮されたい。小中学校が連携し、一貫した英語教育の一層の充実・強化を図りたい。

□委員 水沼孝夫、岡田年弘、小林隆志、岩村治

雄、増渕さつき

産業建設常任委員会

□調査事項 魅力ある芳賀町を創出するための取り組みについて

□調査の目的 LRT整備や公共交通ネットワークの再編、中心市街地の整備等により、祖母井地区における定住・交流促進のための土地利用や生活拠点における公共交通を生かした持続可能なまちづくりについて調査研究する。

□行政視察 新潟県見附市

□調査の意見と提言 本町においては、芳賀高校跡地の住宅地造成や祖母井住居地域での区画整理事業が進行している。近年、異常気象等の災害による電柱の倒壊に伴う救援援助等への影響や、交通事故の誘因、景観の阻害要因などになることから、無電柱化の気運が高まっている。第6次振興計画で掲げた「環境と調和した安全・安心な生活環境の形成」を図るためにも、中心市街地においては無電柱化を積極的に取り入れるよう提言する。

□委員 小林信二、小林俊夫、杉田貞一郎、小林一男、大根田周平



▲視察の様子

※各委員会の所管に関する事務

総務常任委員会・・・総務課・企画課・税務課・会計課・議会事務局・監査委員・選挙管理委員会に関する事務

教育民生常任委員会・・・住民課・福祉対策課・健康増進課・環境対策課・こども育成課・生涯学習課に関する事務

産業建設常任委員会・・・農政課・商工観光課・建設課・都市計画課に関する事務

ここが聞きたい 4人の議員が一般質問

一般
質問

第5日目に一般質問が行われ、4人の議員が町政について質問しました。



大根田 周平 議員 (6ページ)

- ① 第6次振興計画の重点事業実施に伴う土地利用の見直し策について



大島 浩 議員 (7ページ)

- ① 太陽光発電施設の設置等に関する町の対応について
- ② 米政策について



水沼 孝夫 議員 (8ページ)

- ① 行政の責任について～なぜ町は厳しい現実を直視できないのか～



増渕 さつき 議員 (9ページ)

- ① 資源循環型社会「環の町芳賀」について
- ② 芳賀町健康づくり推進計画について

一般質問とは



一般質問は、定例会において行われ、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要なことから、通告制とされています。

質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以内とされています。

〈次回の定例会は3月1日からの予定です〉

みんなで議会を傍聴しましょう

議会は、はがチャンネルでも放送します。

— 放映時間 —

会議当日 午後8時から
再放送 翌日の午後2時から



大根田 周平 議員

第6次振興計画の重点事業実施に伴う土地利用の見直し策について

問 農用地区域と市街化区域（工業専用地域、住居地域）面積の増減について伺う。

答 町長 農用地区域については、北部第2地区ほ場整備事業で現在土地改良区域外にある約10ヘクタールを農業振興地域に編入し、優良農地化する考えです。市街化区域については、計画的に適切な規模の新産業団地約23ヘクタールを創出する作業を進めています。祖母井地区の市街化区域の拡大については国・県と協議を進め、北部第2

地区ほ場整備事業との調整を図りながら拡大すべき面積や位置などを具体的にしていきます。

問 北部第2地区ほ場整備事業の換地計画構想について伺う。

答 町長 平成31年度事業採択を目指し、国・県と事業内容の協議を進めています。調査設計と地権者の皆さまへの説明期間は3年とし、工事期間は5年とする計画で推進しています。本年度は調査設計の2年目で、事業主体である栃木県

や県土地改良事業団体連合会と協議中です。これまでの協議の中で、受益地内の道路拡張、遊水地へのアクセス道路、道の駅がの機能拡大や町有施設用地確保さらには祖母井北部土地区画整理事業との調整などを行っています。

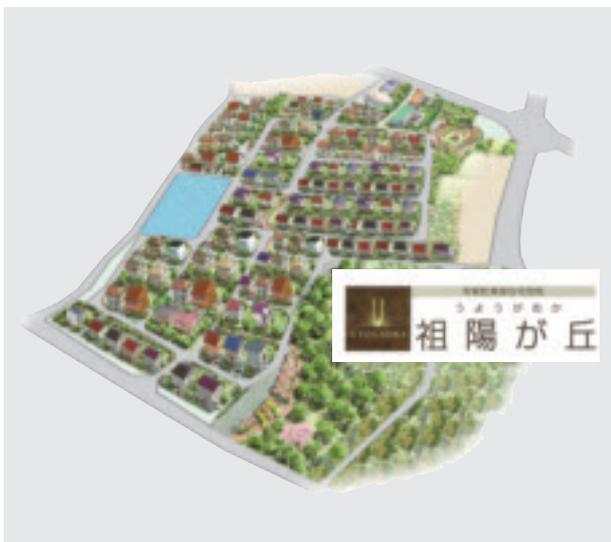
問 LRT整備事業を中心とした公共交通の将来像とネットワーク型コンパクトシティ構想について伺う。

答 町長 町の交通まちづくりについては芳賀町都市交通マスタープランと都市地域総合交通戦略を策定し、コンパクトな都市づくりの継続とネットワークの強化を一体的に取り組んでいるところです。LRTを中心とした公共交通の将来像ですが、東西方向については、バス路線が運行する主要地方道宇都宮茂木線や国道123号線を広域連携軸と位置づけ、LRTとの交通結節機能確保し、南北方向については住居拠点や生活拠点を結ぶ新たな

交通軸の形成が必要と考えています。具体的には、祖母井地区では道路、下水道、土地区画整理事業などを進め、産業拠点では新産業団地の創設に取り組んでいます。また、生活拠点の下原地区、橋場地区では地区計画制度を活用するなど広域的なネットワーク化を図り、コンパクトで持続可能なまちづくりを進めています。

問 小学校跡地を有効活用するため、県に開発許可の柔軟な運用を要望しては。

答 町長 現行の栃木県の開発許可基準においても、排水施設などの技術的基準を満たせば、栃木県開発審査会に付議し、可否を判断してもらうことが可能です。小学校跡地は、その地域の中心地であることから、地域活性化のためにも社会福祉施設などの公益性の高い施設であれば、集落要件を緩和するなど弾力的な運用を要望していきます。



▲祖陽が丘住宅団地の完成イメージ

太陽光発電施設の設置等に関する町の対応について

問 太陽光発電施設の設置には、発電規模、設置場所の景観保全、高台や傾斜地等に設置する場合の災害や環境保全に関する問題などがあると思われる。太陽光発電の補助制度について、現在の町の対応状況について問う。

答 町長 太陽光発電システム設置費補助金事業を実施しています。この補助事業は出力10キロワット未満のシステムに対しての補助であり、主に住宅用が対象となっています。

問 太陽光発電設置に関する規制条例またはガイドライン等について問う。

答 町長 大規模な太陽光発電システムの設置に對して、2つの自治体が条例を既に制定しています。また、新聞報道によると、県内では8市3町が検討中を含め条例やガイドラインをつくる予定です。本町においても、景観や生活環境の保持、または災害の未然防止等の観点から本町にふさわしいものを検討し、条例あるいはガイドラインという形にすべく努力していきたいと考えています。

問 太陽光発電施設内のパネルの廃棄について問う。

答 環境対策課長 2030年代半ばには使用済みパネルの排出量が急増することが予測されます。それらが不法投棄物になったり、有害物質が流れ出す等の危険性が懸念されます。町としては、一刻も早いリサイクル処理システムが構築されることを期待しています。

米政策について

問 平成30年度から行政による生産数量目標の配分が廃止され、国が策定する需給見通し等を踏まえて、生産者や集荷業者・団体が中心となって円滑に需要に応じた生産が行える状況になるよう、行政・団体・生産者が一体となって取り組むとされているが、町の考えを問う。

答 町長 町では、県農業再生協議会の考え方を考慮しながら、町農業再生協議会で、米消費が減少している中で過剰作付にならないよう県農業再生協議会で提示する主食用米の作付参考値をどう運用するか検討していきたいと思えます。

問 50年間にわたって米の生産調整、つまり行政による生産数量目標が配分されていたが、今後各生産者は主食用米を自由に作付できるのか。

答 農政課長 生産数量目標がなくなったからといって、生産者が自由に主食用米を生産すると主食用米の価格が下がり、結果的に生産者の所得低下につながるということとなります。したがって国や県の農業再生協議会では、作付過剰にならないよう、計画的な生産に取り組むように求めています。

問 主食用米の作付参考値とはどのようなものか。

答 農政課長 生産者に混乱が生じないように、各市町の米の単収を基に算出された主食用米の作付面積です。

問 今まで主食用米以外に優良な農地を活用し、麦・大豆・飼料用米・露地野菜等を作付しているが、実績について問う。

答 農政課長 平成29年度の実績は、飼料用米が昨年を若干上回る606ヘクタール、麦類が261ヘクタール、牛の餌となる稲が41ヘクタール、露地野菜は13ヘクタールです。



大島 浩 議員



▲町内の太陽光発電施設



水沼 孝夫 議員

行政の責任について

なぜ町は厳しい現実を直視できないのか

問 人口減少は減少する環境を行政が作っていると考えられ、それを認める国民が大多数なので、人口減少が止まらない。本質的議論を避けた建前論を防ぐためには、各事業の責任を明確にする必要がある。①人口が減っていく根本的な原因について②今後の宅地開発、市街化区域の拡大を検討するとしているが、具体的な施策について③祖母井中北部の区画整理と実効性について④赤坂・下原・橋場その他の調整区域における地区計画制度の活用

について⑤少子高齢化・人口減少・土地利用それぞれの対策と進捗管理及び責任の所在について問う。

答 町長 ①芳賀町の個別の事由として、生活に必要な都市的機能が足りない。進学により都市部に転出し、町に戻る人が少ないことが考えられます。②③特に北部地区は、優良農地と調和を図り、効率的な土地利用や新たな住宅用地を創出するため、一部市街地の拡大を検討中です。また、LRTの祖母井延伸を想定して土地利用の可能性を検

討しています。中部地区は、散在する町有地や近隣商業施設を集約して医療施設や魅力ある商業集積と交流拠点創出計画を地域と協働で行っています。④赤坂地区は、相陽が丘住宅団地の整備を進めています。下原地区は、LRTや共用開始予定の平成34年3月までには地区計画を策定したいと考えています。橋場地区は、他の進捗状況を見て計画導入時期や内容を検討していきます。その他各地域の実情を踏まえ、地区計画の是非を含めて、地元と相談しながら進めるべきと考えています。⑤第6次振興計画のリーダーシッププロジェクトとして、各担当部署が毎年実施計画を策定し、それぞれの事業の進捗管理をしています。

討しています。中部地区は、散在する町有地や近隣商業施設を集約して医療施設や魅力ある商業集積と交流拠点創出計画を地域と協働で行っています。④赤坂地区は、相陽が丘住宅団地の整備を進めています。下原地区は、LRTや共用開始予定の平成34年3月までには地区計画を策定したいと考えています。橋場地区は、他の進捗状況を見て計画導入時期や内容を検討していきます。その他各地域の実情を踏まえ、地区計画の是非を含めて、地元と相談しながら進めるべきと考えています。⑤第6次振興計画のリーダーシッププロジェクトとして、各担当部署が毎年実施計画を策定し、それぞれの事業の進捗管理をしています。

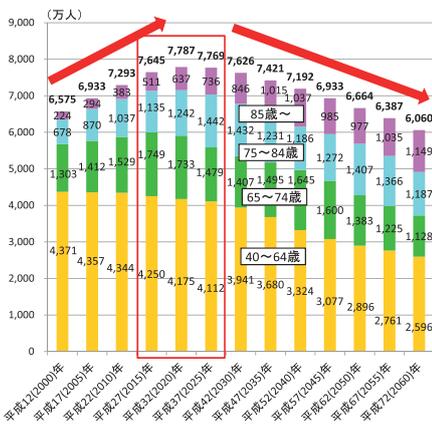
答 都市計画課長 全体で約16億円程度の費用を想定しています。目標値と現実との差は、具体的に事業内容をまだ精査していません。

問 現在町の高齢化率は30%、7年後の2025年には、35%になると予測され、15人で1人を支える構図になる。教育民生常任委員長として携わっているが、今後、認知症や介護支援の需要が加速的に増し、給付の維持や施設の増設を考えると将来世代にツケを残すことになる。責任者として2025年問題をどう考えるか。また、住居

答 町長 大変深刻な問題とは思っていません。指摘のように、なかなか効果が上がらないが、町としては各課が、定住人口を増やそうと創意工夫しています。産業団地を増やして財産を確保し、後の線引きは町だけではできないので鋭意努力をしていきたいと思っています。

問 区画整理事業の投資額と未利用地の高度利用による住宅増加、人口増、税収増のB/C（費用対便益効果）を試算しているのか。

介護保険料を負担する40歳以上人口の推移
○保険料負担者である40歳以上人口は、介護保険創設の2000年以降、増加してきたが、2025年以降は減少する。



(資料) 将来推計は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成24年1月推計)出生中位(死亡中位)推計
実績は、総務省統計局「国勢調査」(国籍・年齢不詳人口を按分補正した人口)

循環型社会を目指す「環の町芳賀」の更なる推進を！

健康を支える社会環境づくりとは？

問 町では、循環型社会（環の町芳賀）の思想として①何よりも「ごみを出さないこと」②出てしまったごみは「できるだけ資源として使う」こと③どうしても使えないごみは「きちんと処分すること」④リサイクルされたものを積極的に使うこと を基本原則として町づくりを進めてきた。

答 町長 本町は第6次芳賀町振興計画において、環境調和型社会の構築を掲げ、その実現のため「環の町芳賀」を推進しているところです。具体的にはプラスチック等の回収処理事業や生ごみ処理事業、環の町芳賀推進事業の中、資源物回収団体への支援等をもってごみの減量化とともにリサイクルに取り組んでいるところと

外れてしまった。この結果を受け「環の町芳賀」推進のため、さらなるごみの減量化とリサイクルの施策をお聞きする。

度度調査」について、平成29年度は満足度3位となっており、現在でも町民から当該事業へ多くのご理解・ご支持をいただいているものと思っております。今後は芳賀チャンネルでの新たなPRを展開したり、出かける出前講座のような攻めの方向に転換して実施し、更なる芳賀町の良好な生活環境の向上に努めていきます。

問 「芳賀町健康づくり推進計画」の中の健康を支える社会健康づくりの目標として全町民を対象とした行事についてお聞きする。

問 生活習慣病の早期発見と重症化予防の取り組みとして血圧計の貸し出しが始まったが貸し出し状況はどのようか。また、まちなか保健室の関連で、町内公共施設に設置されている自動血圧計の一角を「健康コーナー」として整備されることはどうか。

答 町長 平成29年3月に実施した「はがまる健康ウォーク」は146名の参加があり、アンケートの結果からもよい評価が得られたので30年3月に史跡なども加えたコースを設定して継続して実施していきます。

答 健康増進課長 血圧計は6人に貸し出しました。

一般質問

毎年実施されている「町政に関する町民満足度調査結果」においても「資源循環型の構築」は常に満足度の上位にあったが、平成28年度の結果では、満足度・重要度ともにベスト5から

増 議員 さつき



▲役場敷地内にある看板

問 真岡市「まちなか保健室」のように常設で気軽に健康相談ができる場所の整備についてお聞きする。

答 町長 本町では保健センターを会場に毎週火曜と木曜に保健師が勤務し、乳幼児の健康相談、健診後の保健指導、メンタルの相談など個別相談に応じています。平成28年度の実績は一日当たり2人弱で人材配置のコスト等を考慮し、現状の保健センターを会場とした健康相談

に対応していきます。



▲昨年のはがまる健康ウォークの様子

議員 さつき 増

研修報告

芳賀郡市議会議員 自治研修会

11月13日、日光市で芳賀郡市1市4町の議会議員が出席し、芳賀郡市町議会議員自治研修会が行われました。樋渡社中株式会社代表取締役で、前武雄市長の樋渡啓祐氏による「武雄市政における街づくりの秘訣」、落語家11代目金原亭馬生氏による「落語を通じて学ぶコミュニケーション術」の講演を聴きました。



栃木県町村議会議員 研修会

11月17日、宇都宮市東市民活動センターで栃木県町村議会議員研修会が行われました。講師は、同志社大学大学院教授の新川達郎氏と時事通信社解説委員長の山田恵資氏で、新川氏から「町村議会活性化と改革の課題」、山田氏から「政治の行方を展望する」というテーマで講演を聴きました。



タブレット研修を 開催

12月7日ロマンの湯健康センターで、タブレット端末の研修を行いました。議員1人1台ずつタブレットを持ち、実際に操作を行いました。タブレットを導入することで、議会関連資料の電子化や情報の共有ができ、有効であると感じました。



自治会長と議員の 懇談会を開催

12月7日、道の駅はがで自治会長と町議会議員の懇談会が行われました。議会の流れなどの説明、各常任委員会の閉会中の所管事務調査の報告、政務活動費についての説明の後、各自治会長から議員に対して多くの質問がありました。



芳賀北部広域行政 推進協議会研修会

1月18日、芳賀郡4町の正副議長、常任委員長で構成される芳賀北部広域行政推進協議会研修会が、茨城県ひたちなか市の茨城県原子力オフサイトセンターと原子力緊急時支援・研修センターで行われました。それぞれの担当者から説明を受け、原子力災害が発生した場合、その対策にあたるための施設見学等を行いました。





小林 夢奈さん
(上延生)

私が芳賀町に思うこと

私は、生まれてから現在に至るまでの20年間、この恵まれた環境にある芳賀町で生活してきました。そして、無事に成人式という社会人としての第一歩の日を迎えることができ、心より感謝しております。

芳賀町は、とても住み良い環境にあると感じています。特にそのように感じる瞬間は、都内へ出掛ける時です。皆さんも県外に足を運ぶことがあると思いますが、私は芳賀町へ戻ると、空気の良さや自然の多さにいつも安心する気持ちになります。

また、2022年に開業を目指しているLRTについてですが、芳賀町にも少子高齢化の波は少しずつ訪れており、LRTがこれからの芳賀町の中心となる交通機関となっていくと思います。LRTは、自家用車の有無にかかわらず「誰もが安心して移動できるコンパクトシティ」を実現し、迫り来る少子高齢化の波に対応できるとも期待しています。

これからも住み良い町で居続けることができるよう、更に最適な環境を整えていただけたらと思います。



齋藤 雅文さん
(八ツ木)

活気あふれる町づくり

大学に進学するまでの18年間、住みやすいこの芳賀町で過ごし、多くの方々に支えられ、無事成人を迎えることができました。現在、芳賀町には家族みんなで遊べ、買い物できるような施設が少なく、これからの芳賀町を支えていく若い人たちが芳賀町を離れて他の市町村に移住してしまったり、町外の方々が芳賀町に遊びに来ることが少ない状況ではないかと思っています。そこで、芳賀町には多くの方々に来ていただける、住んでいただける施設を誘致していただきたいと思っています。私自身も何か楽しみを求める際に遠くへ外出し、芳賀町の中で完結することがなかったので、町の中心を通る大きな道路も開通し交通量も増えた今、人々が楽しめる施設ができることによってより多くの人が集まり、魅力ある芳賀町に近づくのではないかと思います。梨やイチゴなど食に魅力のある芳賀町がより人々で活気にあふれ暮らしやすい町になることを期待しております。



石井 瑞紀さん
(西水沼)

あいさつの町

私は大学に進学するまでの18年間、芳賀町で暮らしていました。今は一人暮らしをしていますが、その中で改めて気づいたことがあります。それは芳賀町のあいさつが素晴らしいということです。あいさつが素晴らしいといっても大人たちのあいさつではありません。子どもたちのあいさつです。芳賀町内の小中学校ではあいさつ運動が徹底していると思います。「三つ子の魂百まで」とあるように小さい頃に身についた習慣は大人になっても残ります。おはようございます、さようなら、ありがとう、どういたしまして、ごめんなさい。私の身近にいる大人は残念ながらこんな簡単なことができていません。私はそういう大人になりたくないなので、子どもの頃の習慣を忘れずにしっかりあいさつをしていこうと思います。

議会日誌

11月

- 5日・町民祭
 - ・赤羽有紀子ロード梨の里マラソン大会
- 9日・産業建設常任委員会
- 13日・総務常任委員会
 - ・教育民生常任委員会
 - ・芳賀郡市町議会議員自治研修会
- 15日・真岡北陵高校創立110周年記念式典
- 16日・高齢者総合保健福祉計画策定委員会
- 17日・県町村議会議員研修
- 18日・町消防団通常点検
- 19日・芳賀東小学校20周年記念式典
- 20日・地方自治法施行70周年記念式典（東京都）
 - ・例月現金出納検査
 - ・芳賀中部上水道企業団例月出納検査
- 22日・町村議会議長全国大会（東京都）
- 24日・議会運営委員会
 - ・議員全員協議会
 - ・芳賀郡市議長会定例会
- 26日・町剣道大会
- 30日・商工会と芳工連との交流会

12月

- 1日・第5回芳賀町議会定例会（～6日）
 - ・議会広報常任委員会
- 7日・タブレット研修会
 - ・自治会長との懇談会
- 14日・芳賀地区広域行政事務組合出納検査
- 17日・はが路ふれあいマラソン
- 20日・例月現金出納検査
 - ・芳賀中部上水道企業団例月出納検査
- 21日・高齢者総合保健福祉計画策定委員会
- 25日・芳賀地区広域行政事務組合議会定例会
 - ・真岡線SL運行協議会臨時会

1月

- 7日・成人式
 - ・消防団新年懇談会
- 10日・新春賀詞交歓会
- 17日・町国民健康保険運営協議会
- 18日・芳賀北部推進協議会研修会
- 19日・芳賀中部上水道企業団例月出納検査
- 20日・生涯学習講演会
- 22日・例月現金出納検査
- 26日・芳賀郡市監査委員研修会
 - ・芳賀町工業団地連絡協議会賀詞交歓会
- 30日・農業振興対策推進協議会

議会だよりは ホームページでも 公開しています

本会議の会議録をはじめ、議会情報も随時お知らせしています。掲載しきれなかった一般質問は、会議録で見られます。アクセスしてみてください。

スマホや
タブレット
でも！



芳賀町議会

検索

編集室

庭の「ロウバイ」がちらほら咲き始め、冬の日差しを受ける姿に一足早い春を感じています。

今年の箱根駅伝も、青山学院大学の優勝で終わりました。指導者、選手層の厚さ、環境等の良さなのかすばらしい結果でした。11位以下の大学は、また予選会からの出発です。他校についてもがんばってほしいものです。

今年町内では、LRT事業、産業団地拡張事業23ヘクタール、祖陽が丘住宅団地造成事業124戸、食肉セ

ンター事業11ヘクタール、遊水地事業18ヘクタール等、大型プロジェクトがめじろ押しです。3年から6年後ぐらいまでには竣工することでしょう。

町民の皆さまには、この各種事業の結果を見ていただきたいと思っております。ご理解とご協力をお願いいたします。

（議会広報常任委員長 小林 俊夫）

議会広報常任委員会

- 委員長 小林 俊夫
- 副委員長 大根田 弘
- 委員 岡田 年弘
- 委員 石川 保
- 委員 北條 勲



▲西水沼天満宮のロウバイ